

ゆめサロン

便り

令和2年

5月10日

吉賀町ゆめサロン

No.450

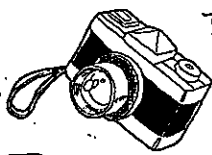
新緑の美しい

季節です。



皆様お元気ですか。新型コロナウィルスに気をとられて居るうちに季節はうんと代わってあたりは新緑と化しています。早く正体がわかり良いワクチンができますように祈るところです。

青い鳥



或る日のことです。花の水やりをすませて部屋に入った所バタバタと鳥がぶつかってきまし

た。

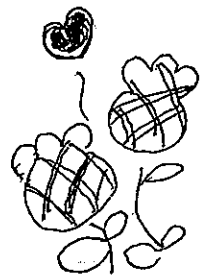
「ワーツ」と大声を上げるとなお驚いてそこらの隙間に入り荒い息をしています。こんな時息子に貰った一眼レフの定番です。シャッターを切つて窓を開けてやりました。青い鳥は大きく羽ばたいて、ふりむきもせず遠くへ飛んでいきました。「つばめがうちにぶつかつて逃げて行った」といつてとれたての写真を見せると夫は、「こねえなつばめはおらん、もしおつたら話題になる。それにつばめはぶつからん」といいました。孫たちに写真を送つて調べてもらおうとその鳥は

おもしろいらしいのです。ここにもいるんだあと大喜びし、もう一度みたいと思うけどかないません。何かいいことがあります。



伝わる

気持ち



中々気持ちが伝わらないという言葉を聞くことがよくあります。生きるつてそんなものだ。と言う人もいます。だけど時に、思うことがあります。

高校の時の友達といえ半世紀以上前の友達ですが、私が癌の手術で入院した時、毎日のように名古屋からメールで勇気づけてくれました。そして彼女は私が春に退院してその年の夏に他界したのです。抗がん剤を受けて居て頭に毛がない私は名古屋まで行くことが出来なくて岐阜にいる友達にいつてもらったのですが、そのときから友達の娘さんが毎年新茶を送って下さったり年賀状を下さったりして交流は十数年続いています。また結婚したばかりの頃から近所同士で付き合った奥さんの子供さん二

人が、幼児期に近くに住んでいた私に毎年の年賀状やお便りなどくださるのです。お母さんはずっと亡くなられたのに、と感謝しかありません。京都と福岡からの便りです。親御さんの子育ての素晴らしさでしょう。どうしたらこんなになるのか不思議です。

あき(わ)



別れてから八か月が過ぎます。寂しい気持ちを時は解決してくれません。サロン便りを作り始めると食卓の自分の椅子に座つてずっとこちらを見ていて夜になるとわたしのベットに寝て私に来るのを待っていてくれました。夕方になるとお風呂の前で待っていてくれました。今はあることの思い出の中にどっぴりつかつて懐かしんでいます。

ゆめサロン

便り

令和2年

5月15日

吉賀町ゆめサロン

No.451

新緑が美しい



世界中の問題となった新型コロナウイルスの危機は早く良いワクチンができることを願うことしかできません。皆さまどうぞお大事になさってくださいませ。

不安な夜、子供たちとも会うことが出来ない日々、人々の心が荒まない様に・・・と祈ることしか出来ません。

健康的に



この頃膝が痛い人は減少してその分腰が痛い人が多くなったと整形外科のお医者さんが話し

ておられたようです。閉じこもりの生活が続くと椅子に座った姿勢が多くなるからだそうです。あまり歩かないから軟骨のスリヘリがすくなくないから膝は痛い人がすくなくなっているようです。心はどうでしょう。ストレスはたまりませんかと思ったりします。早く新型コロナウイルスの心配がなくなりますように・・・。

早く新型コロナウイルスの心配がなくなりますように・・・。

ささゆり



沢山咲いていた私の家の池の上の丘になった所にささゆりが咲かなくなつて久しいのですが、もしかしたら復活したかもしれない。



また目まい



この度は早く薬をやめたからかいつこい目まいに困りまします。新型コロナウイルスでは命の危険もあるけれど目まいで死んだ人はいないからと軽く考えています。何かと気持ち悪く不安定で困ります。目まいでも家事の休みはないからと、自分に言い聞かせてよければいいように歩く私です。

野鳥とつ

野の花



このところ野鳥を可愛いと思う私は野鳥との出会いも多く、楽しんでいきます。カラスといえども可愛いものです。朝パソコンの前に座って、ふと窓の外を見ると電線の上からカラスがこちらを見ています。「おはよう」いうようにみえます。あるこのかわりに。

そこにまた友達が出来ました。ハクセキレイと言う小さな野鳥です。私と違いいつも忙しく走り回っています。お辞儀するよりに頭をびよこんと下げる姿は何ともかわいいです。

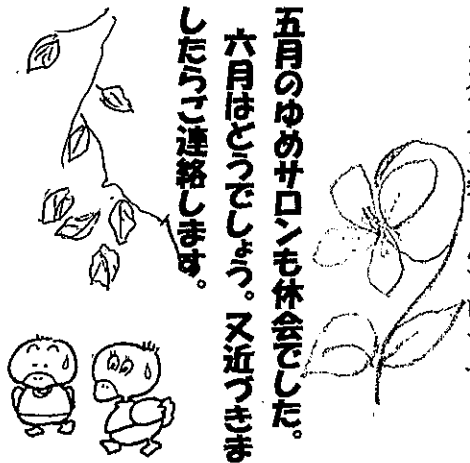
或る時、雑草と言えども可愛いと写真を見せたら、「雑草と言う名前前の草はないと明治天皇が言われたと読んだ」と娘がいうので野の花ということにしました。みんなそれぞれに名前がついているのですものね。

新型コロナウイルスという厄介なもののために閉ざされた生活を強いられる昨今ですが、小さな発見を楽しんでいます。

新型コロナウイルスという厄介なもののために閉ざされた生活を強いられる昨今ですが、小さな発見を楽しんでいます。

五月のゆめサロンも休会でした。

六月はどうでしょう。又近づきましたらご連絡します。



ゆめサロン

便り

令和2年

5月22日

吉賀町ゆめサロン

No.452

待ちに待った日の

お知らせ



みなさまおかわり有りませんか。長い間お会いしなかったように思います。

昨日長嶺保健師さんがいらして下さり、ゆめさろんの開催を六月からはじめてみてはどうだろうかとおっしゃってくださいました。開催についての注意事項などを守って**六月二十日**に開催する旨お返事しました。久しぶりにお会い致しましょう。



ささゆり

その後

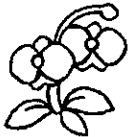


前回のサロン便りで。ささゆりらしきものを見つけたことを書きました。がさらに確実に近いと言う事をお知らせしたいと思えます。蕾が見えるようになりました。三十年くらい前までは三十本位咲いていたのです。

何故か咲かなくなっていたのは植林した木が大きくなったからだろうと思っていました。

日陰になるからと大きくなった木を業者さんに頼んで伐採してもらったけど咲きませんでした。そこを草刈りしてもらおうようになった。十年位たちました。このまま復活してくれるように祈る様な気持ちです。

ニオイバンマツリ



一 昨年の母の日にバラの鉢植え

とニオイバンマツリの鉢植えを娘が送ってくれたのですが去年はどちらも咲きませんでした。地植えにしていたのを再び鉢にあげて毎日見えています。今年こそは咲いてくれるでしょう。



野鳥たち

このところ野鳥の話題がよく私の周りでもとりざたされるようになりました。コロナは怖いけれど紫外線には弱いのだそうですね。そうしますと、野鳥は紫外線にあたるのでコロナは野鳥には関係ないかもしれません。幼稚な問答かもしれませんが。野鳥にも住むところの特徴もありますし、そう簡単には解決できないのかもしれないが、そんなことをいろいろ考えながら鳥たちを眺めています。

ます。

みどりの中で



このところ自粛生活という言葉が飛び交い、人に逢って話しをするということも、私にはありません。それでも生きていくんだろうなあと思うのは喋々もトンボも人間以外の者は皆黙っています。でも：うちには猫のあるこは私が黙っていると「**にゃあ**」と言っていました。昨日ある子の眠るところにいつか話しかけてみました。が何にも答えてくれません。あるこはいないんだ。あるこがいなくなったからコロナウイルスとやらで子供らもかえることができなくなっています。こんなきれいな自然の中で私は黙って緑を見えています。

